

平成30年7月豪雨災害からの復興に向けた取組の進捗状況について

区分	重点取組項目	取組の名称	取組の概要	実施予定期間	完了予定年度	取組実績 (10月末まで)	課題	今後の予定	担当課	
1	① 被災者の生活支援・見守り・心のケア	ア 「地域支え合いセンター」による生活相談・見守り支援	天応・安浦地区の「地域支え合いセンター」における訪問、見守り、サロン等を通じた健康相談や孤立防止、健康維持支援等の実施	短期 (3年以内)	H32	○10月15日のセンター開設後、生活支援相談員による仮設住宅等の訪問・相談開始 ○対象世帯数：265世帯	●市外みなし仮設住宅入居者に対応するための他市町の地域支え合いセンター等との連携	◎各世帯の状況把握と分析 ◎支援に関わる関係機関との情報交換（必要に応じて実施）	福祉保健課	
		イ 被災者支援制度 (主なもの)	(ア) 災害見舞金等一時金の支給		短期 (3年以内)	H30	【呉市災害見舞金】 ○申請件数：1,243件 うち、決定件数：1,138件 【災害弔慰金】 ○申請件数：23件 うち、決定件数：23件 【呉市災害義援金】 ○申請件数：1,393件 うち、決定件数：1,262件	●未申請者への対応が必要	◎市ホームページや市政だより等により広く周知 ◎被災者台帳を活用した申請勧奨	福祉保健課
			(イ) 市税の減免		短期 (3年以内)	H30	【個人市民税】 ○申請件数：1,344件 うち、決定件数：1,197件 【固定資産税】 ○申請件数：1,555件 うち、決定件数：1,130件			市民税課 資産税課
			(ウ) 保険料の減免		短期 (3年以内)	H30	【国民健康保険料】 ○申請件数：391件 うち、決定件数：381件 【後期高齢者医療保険料】 ○申請件数：502件 うち、決定件数：486件 【介護保険料】 ○申請件数：1,030件 うち、決定件数：926件			保険年金課 介護保険課
			(エ) 上下水道料金等の免除		短期 (3年以内)	H32	○対象件数：1,653件 うち、決定件数：1,653件			上下水道局 営業課

区分	重点取組項目	取組の名称	取組の概要	実施予定期間	完了予定年度	取組実績 (10月末まで)	課題	今後の予定	担当課
1	被災者支援プロジェクト	イ 被災者支援制度 (主なもの)	(オ) 保育料等の減免	短期 (3年以内)	H31	【保育料】 ○申請件数：68件 うち、決定件数：68件 【放課後児童会分担金】 ○申請件数：51件 うち、決定件数：51件	—	—	子育て施設課 子育て支援課
			(カ) 災害援護資金の貸付	短期 (3年以内)	H30	○申請件数：6件 うち、決定件数：6件	—	—	福祉保健課
			(キ) 住宅の応急修理費用の補助	短期 (3年以内)	H30	○申請件数：247件 うち、決定件数：211件	●未申請者への対応が必要	◎市ホームページやチラシ配布等により広く周知	建築指導課
		ウ 被災者の生活支援と見守り・心のケア	保健師等による健康相談や戸別訪問を通じた被災者や支援者の心のケア	短期 (3年以内)	H32	○訪問対象件数：約990件 ○訪問実施件数：646件	●不在等による状況把握が困難なケースの存在	◎在宅被災者を中心とした戸別訪問等を実施 ◎新たに心の健康教室の開催を検討	健康増進課
		エ 全壊、半壊世帯に対する住宅支援制度の広報	住宅支援制度（仮設住宅・公営住宅・民間賃貸住宅への入居又は応急修理）を利用していない被災世帯への制度の周知による期限内利用の促進	短期 (3年以内)	H30	○対象世帯の抽出作業中	●受付期限後の申出者への対応	◎対象世帯への郵送による制度の周知	住宅政策課
		オ みなし仮設住宅（民間賃貸住宅）受付者の居所の把握	みなし仮設住宅（民間賃貸住宅）の受付後、未契約者への住まいの再建築の確認	短期 (3年以内)	H30	○対象世帯：81世帯 ○連絡済世帯：57世帯	●新たな住まいが決まっていない世帯への支援	◎対象世帯の状況確認 ◎新たな住まいが決まっていない世帯への住宅支援制度の紹介	住宅政策課
		カ みなし仮設住宅及び公営住宅等の入居者に対する住まいの支援	供与期間が終了する被災者を対象に新たな住まいの相談を実施	短期 (3年以内)	H32	○市営住宅の被災者優先募集の調整中	●供与期間が終了する被災者のニーズに応える住宅支援の検討	◎郵送等による市営住宅等の募集要項の配布 ◎（公社）広島県宅地建物取引業協会呉支部の協力による民間賃貸住宅の紹介	住宅政策課
		キ 災害公営住宅整備の検討	災害で家屋を失い、自力での住宅確保が困難な被災者に低廉な家賃の住宅を供給	短期 (3年以内)	H32	○被災者意向調査の実施に向けた調整	●被災者ニーズの把握と建設候補地の選定	◎建設候補地の選定と被災者意向調査による整備手法等を検討	住宅政策課

区分	重点 取組 項目	取組の名称	取組の概要	実施 予定 期間	完了 予定 年度	取組実績 (10月末まで)	課題	今後の予定	担当課
1 被災者支援 プロジェクト	① 被災者の生活 支援・見守り・ 心のケア	ク 仮設住宅の管理・ 運営	仮設住宅の管理と入居者の住宅使用における利便性の確保	短期 (3年以内)	H32	○対象世帯数：61世帯 ○管理委託契約の締結 期間：H30.9～H31.3	●居住者の多様なニーズへの対応（付帯設備の追加，周辺の環境整備，生活用品の支給等）	◎広島県及び管理委託業者との 協調による住民ニーズの充足	住宅政策課
		ケ 被災者支援窓口	被災者に寄り添い，行き届いたワンストップの相談窓口の設置と相談の実施	短期 (3年以内)	H32	○相談件数：1,860件 ○土のう袋等の配布：690件	●被災当初と現在の相談内容の 変化への対応	◎被災者支援に関する相談受付 や情報提供の充実	市民窓口課 人権センター
		コ くれ災害ボランティアセンターとの効果的な連携	センターを構成する各団体への行政情報の提供及び市内部の関係各課との連絡調整等の実施	短期 (3年以内)	H30	○ボランティアの参加人数 (くれ災害ボランティアセンター及び現地受付分) 7/10～10/31累計 38,317名  ※11月1日から呉市社会福祉協議会が常設するボランティアセンターに移行	—	◎被災者の残ニーズ・追加ニーズについては，引き続き，呉市社会福祉協議会が関係団体と連携して個別に対応	地域協働課
		サ 避難所から自宅・ 応急仮設住宅等への 円滑な移行	避難所避難者への適切な生活支援による自宅への帰宅又は応急仮設住宅への移行の促進	短期 (3年以内)	H30	○避難所開設状況（最大） ・箇所数 134施設 ・避難世帯 409世帯 ・避難者数 1,418人 ○直近の避難所閉鎖状況 9/14 天応市民センター閉鎖 10/ 2 安浦市民センター閉鎖	—	—	地域協働課

区分	重点 取組 項目	取組の名称	取組の概要	実施 予定 期間	完了 予定 年度	取組実績 (10月末まで)	課題	今後の予定	担当課
2	① 子ども・子育て家庭のサポートと児童生徒の心のケア	ア スクールカウンセラーの派遣による児童生徒の心のケア	被災により心のケアを必要とする児童生徒やその保護者に対するスクールカウンセラーによるカウンセリングの実施	短期 (3年以内)	H30	○スクールカウンセラー派遣状況等 ・小学校9校(延べ215人) ・中学校8校(延べ152人) ・避難所3か所 ※延べ272日派遣	●継続支援を必要とする児童生徒への心のケア (10月末現在:30人)	◎継続支援を必要とする児童生徒に対する心のケアの推進	学校安全課
		イ スクールカウンセラーによる教職員を対象とした「児童生徒の心のケア」に関する研修の実施	被災により心のケアを必要とする児童生徒への支援に関わる教職員を対象とした、スクールカウンセラーによる研修やケース会議の実施	短期 (3年以内)	H30	○カウンセラーによる研修、ケース会議 80回開催	●継続支援を必要とする児童生徒への支援に関わる教職員研修の継続実施	◎引き続き、継続支援を必要とする児童生徒に関する研修を、必要に応じて実施	学校安全課
		ウ 心の元気を育てるための体験活動等の実施	被災により心のケアを必要とする児童生徒に対する心の元気を育てるための体験活動等の実施	短期 (3年以内)	H30	○天応小学校・中学校 PTA・ボランティア団体主催イベント「学校で遊ぼう!!」 (9/1開催) ○安浦小学校 ボランティアによる絵本読み聞かせ(9/13・10/11開催) ○安浦中学校 生徒による地域訪問(9/21・25開催) ○天応小学校 異学年合同授業(9/27開催) ○天応中学校 文化祭での合同合唱・壁画づくり(10/13開催)	●継続支援を必要とする児童生徒に対する心の元気を育てるための体験活動等の継続実施	◎引き続き、心の元気を育てるための体験活動等を支援	学校安全課
		エ 子どもの支援者への「子どもの心のケア」に関する研修の実施	被災した子どもの心のケアを支援するため、幼稚園、保育所のほか子どもに関わる職員を対象に、子どもの心のケアへの理解を深め、適切な関わり方を学ぶための研修を実施	短期 (3年以内)	H30	○研修実施回数:3回 ○参加者数:延べ約230人	●心のケアが必要となる多様な症状の現れ方や時期に対応するため、保育所や幼稚園等、小規模単位での継続的な研修等による個別のフォローアップの実施	◎PTSD(心的外傷後ストレス障害)への対応も考慮し、事業を実施	子育て支援課 子育て施設課

区分	重点 取組 項目	取組の名称	取組の概要	実施 予定 期間	完了 予定 年度	取組実績 (10月末まで)	課題	今後の予定	担当課
2	① 子ども・子育て家庭のサポートと児童生徒の心のケア	オ NPO法人やボランティア団体などの協力による子どもの遊び場・親同士の交流の場づくりによる心のケア	被災した子どもの遊び場や子育て家庭の交流の場づくり、保育士の資格を持つ有志による無料託児サービス、災害支援団体やNPO法人によるイベント・レクリエーションの開催	短期 (3年以内)	H30	○ボランティア団体等による親子の交流の場づくり(安浦地区) 月・木, 10~15時 (11月からは週1回) 参加者 1回あたり15組程度  ※10月から安浦中央保育所の仮園舎で「地域子育て拠点事業」を再開	●被災により休止していた安浦中央保育所の「地域子育て支援拠点事業」再開後における、安浦会館を利用している子育て家庭への対応	◎安浦会館での集いの場の段階的縮小と保育所が実施する「地域子育て拠点事業」への移行	子育て支援課 子育て施設課
					H31	○ボランティア団体等による一時預かり事業(天応地区) (8月) 月~金, 9~16時 (9月から) 月・金, 9~16時 参加者 延べ330人 うち一時預かりした子ども 延べ 94人	●ボランティアによる一時預かり事業終了後の対応	◎子育て家庭のニーズを踏まえた、天応地区における子どもの居場所の確保について検討	
					H30	○子どものためのイベント・レクリエーションの開催 ・天応 2回 参加者 延べ約220人 ・安浦 3回 参加者 延べ約250人	●利用しやすい場所の確保 ●長期にわたる団体同士の連携・連絡等の調整	◎被災地域のニーズに応じた、支援団体等との連携によるイベント・レクリエーションの実施	

区分	重点 取組 項目	取組の名称	取組の概要	実施 予定 期間	完了 予定 年度	取組実績 (10月末まで)	課題	今後の予定	担当課
3	① 土木復旧・強化	ア 被災した市道等道路施設等の早期復旧及び改良復旧	(ア) 被災した道路の早期復旧の推進	短期 (3年以内)	H32	○公共災害件数 133件 ○査定済件数 34件 (査定済割合 26%)  ※崩土撤去等の応急工事については、査定前発注により工事を実施中	●現在の進捗状況では12月以降に受検する査定が過半数となる見込み ●構造物復旧工事の査定に向けた準備及び受検対応	◎災害査定を受検（毎週） ◎発注用実施設計書の作成は災害査定が終了する2月以降となる見込み	土木維持課 土木整備課
			(イ) 被災した橋りょうの早期復旧の推進	短期 (3年以内)	H32	○公共災害件数 11件 ○査定済件数 0件 (査定済割合 0%)  ※査定に向けて全件の測量設計を実施中 ※仮橋が早急に必要な箇所について設置を実施中	●国との事前協議を継続中であり、査定の受検は1月となる見込み ●査定受検後、ボーリング調査及び実施設計を実施	◎査定受検後に実施設計の発注を行うため、復旧工事着手は実施設計の完了後となる見込み	土木維持課 土木整備課
			(ウ) 被災した公園施設の早期復旧の推進	短期 (3年以内)	H31	○公共災害件数 4件 ○査定済件数 0件 (査定済割合 0%)  ※査定に向けて全件の測量設計を実施中	●構造物復旧工事の査定に向けた準備及び受検対応	◎11月下旬に全件の災害査定を受検予定 ◎災害査定後、年度内発注に向けた取組を実施	土木維持課 土木整備課
		イ 被災した河川の早期復旧及び改良復旧	被災した河川の早期復旧の推進	短期 (3年以内)	H32	○公共災害件数 84件 ○査定済件数 21件 (査定済割合 25%)  ※河川埋塞土撤去等の応急工事は査定前発注により工事を進めており、河道の確保は完了済	●現在の進捗状況では12月以降に受検する査定が過半数となる見込み ●構造物復旧工事の査定に向けた準備及び受検対応 ●来年度の梅雨入りまでの工事完了は困難 ●工事用仮設道路の設置について、施工時期を含めた地権者との調整が必要	◎災害査定を受検（毎週） ◎発注用実施設計書の作成は災害査定が終了し、地権者協議が完了した後となる予定	土木維持課 土木整備課

区分	重点 取組 項目	取組の名称	取組の概要	実施 予定 期間	完了 予定 年度	取組実績 (10月末まで)	課題	今後の予定	担当課
3 インフラ 強靱化（土木） プロジェクト	① 土木 復旧・ 強化	ウ 国・県事業の砂防・ 治山えん堤等再度 被災防止施設の早期 整備	(ア) 砂防えん堤の整備による再 度被災の防止	短期 (3年以内)	H32	○砂防えん堤予定箇所(国, 県) 29か所 ○事業決定箇所 12か所 (決定済割合 41%)  ※事業決定した箇所から11月以 降, 順次, 地元説明会を実施す る予定	●工事用道路の仮設による借地 や砂防事業用地の指定につい ての土地所有者の同意が必要 ●えん堤下流の流路の早急な整 備が必要	◎えん堤下流の流路について国 や県の事業に併せて計画的に実 施	土木維持課 土木整備課
			(イ) 治山えん堤の整備による再 度被災の防止	中期 (5年以内)	H34	○治山えん堤予定箇所(県) 49か所 ○事業決定箇所 5か所 (決定済割合 10%)	●工事用道路の仮設による借地 や治山事業用地の指定につい ての土地所有者の同意が必要 ●治山事業用地についての土地 所有者の同意が必要	◎えん堤下流の流路について県 の事業に併せて計画的に実施	土木維持課 土木整備課
	② 農業基 盤復旧・ 強化	ア 農道・水路等農業 用施設の早期復旧及 び改良復旧	(ア) 被災した農道の早期復旧の 推進	短期 (3年以内)	H32	○公共災害件数 44件 ○査定済件数 6件 (査定済割合 14%)  ※コンサルタント業者の確保が 困難な中, 直営での測量設計も 行いながら災害査定の準備を実 施中	●職員及びコンサルタント業者 の不足から査定設計書作成に時 間を要している ●簡易査定後, 工事発注に必要 な測量・設計図書の作成等の業 務への対応	◎簡易査定の導入により査定の 進捗を加速化 ・災害査定: H30年12月 ・增高申請: H31年 1月 ・H31年2月から実施設計	土木維持課
			(イ) 被災した水路の早期復旧の 推進	短期 (3年以内)	H32	○公共災害件数 59件 ○査定済件数 3件 (査定済割合 5%)  ※コンサルタント業者の確保が 困難な中, 直営での測量設計も 行いながら災害査定の準備を実 施中	●職員及びコンサルタント業者 の不足から査定設計書作成に時 間を要している ●簡易査定後, 工事発注に必要 な測量・設計図書の作成等の業 務への対応	◎簡易査定の導入により査定の 進捗を加速化 ・災害査定: H30年12月 ・增高申請: H31年 1月 ・H31年2月から実施設計	土木維持課
			(ウ) 被災したため池の早期復旧 の推進	短期 (3年以内)	H32	○公共災害件数 7件 ○査定済件数 0件 (査定済割合 0%)  ※コンサルタント業者の確保が 困難な中, 直営での測量設計も 行いながら災害査定の準備を実 施中	●職員及びコンサルタント業者 の不足から査定設計書作成に時 間を要している ●簡易査定後, 工事発注に必要 な測量・設計図書の作成等の業 務への対応	◎簡易査定の導入により査定の 進捗を加速化 ・災害査定: H30年12月 ・增高申請: H31年 1月 ・H31年2月から実施設計	土木維持課

区分	重点 取組項目	取組の名称	取組の概要	実施 予定 期間	完了 予定 年度	取組実績 (10月末まで)	課題	今後の予定	担当課
3	② 農業 基盤 復旧・ 強化	イ 林道の早期復旧及 び改良復旧	被災した林道の早期復旧の推 進	短期 (3年以内)	H32	○公共災害件数 113件 ○査定済件数 9件 (査定済割合 8%) ※コンサルタント業者の確保が 困難な中、直営での測量設計も 行いながら災害査定の準備を実 施中	●職員及びコンサルタント業者 の不足から査定設計書作成に時 間を要している ●査定後、工事発注に必要な測 量・設計図書の作成等の業務へ の対応	◎査定の進捗を加速化 ・災害査定：H30年12月 ・増高申請：H31年 1月 ・H31年2月から実施設計	土木維持課
		ウ 農地の早期復旧及 び改良復旧	被災した農地の早期復旧の推 進	中期 (5年以内)	H34	○公共災害件数 502件 ○査定済件数 0件 (査定済割合 0%) ※職員の配置換えや他都市から の派遣職員により体制を拡充 し、総動員で被災農地の調査や 査定の準備を実施中	●職員及びコンサルタント業者 の不足から査定設計書作成に時 間を要している ●査定の効率化に必要な島しょ 部の航空写真の不足 ●簡易査定後、工事発注に必要 な測量・設計図書の作成等の業 務への対応 ●土地所有者と負担金や工法に ついての調整が必要	◎簡易査定の導入により査定の 進捗を加速化 ・災害査定：H30年12月 ・増高申請：H31年 1月 ・H31年2月から実施設計	土木維持課



区分	重点 取組 項目	取組の名称	取組の概要	実施 予定 期間	完了 予定 年度	取組実績 (10月末まで)	課題	今後の予定	担当課
4 インフラ 強靱化（上下 水道）プロ ジェクト	① 上下 水道 復旧・ 強化	ア 水道施設の本復旧	被災した水道施設の早期復旧の推進	短期 (3年以内)	H32	○対象件数271件 ○発注件数225件 (発注割合83.0%) ○完成件数211件 (完成割合77.9%)	●施行時期について、道路等の復旧工事との調整が必要 ●柳迫第1ポンプ所建設用地の選定及び設計に時間を要するため、年度内に査定を受けることが困難な状況	◎関係機関と調整を図り、道路等の復旧工事に併せて実施 ◎柳迫第1ポンプ所建設用地の早期選定と翌年度への査定の繰越しに係る国との協議・調整	水道建設課 浄水課
		イ 工業用水道施設の本復旧	被災した工業用水道施設の早期復旧の推進	短期 (3年以内)	H31	○対象件数4件 ○発注件数4件 (発注割合100%) ○完成件数0件 (完成割合0%)	●復旧工事完了後の二級水源地からの配水管の管内洗浄及び給水開始時期等について、需要者との調整が必要	◎関係機関や需要者と調整を図り、早期復旧及び給水再開に向けて工事を継続	水道建設課 浄水課 経営企画課
		ウ 下水道施設の本復旧	被災した下水道及び集落排水施設の早期復旧の推進	短期 (3年以内)	H31	○対象件数37件 ○発注件数28件 (発注割合75.7%) ○完成件数18件 (完成割合48.6%)	●施行時期について、道路等の復旧工事との調整が必要	◎関係機関と調整を図り、道路等の復旧工事に併せて実施	下水建設課 下水施設課
		エ 水道施設の更新・強靱化	老朽施設の計画的な更新に併せた耐震化等の推進と新たな強靱化対策の検討	短期 (3年以内)	H31	○平成30年度の取組状況 ・管路更新発注件数 17件 L=7,596m	●施設の強靱化には、多額な費用と長い期間が必要	◎施設の重要度・危険度等を踏まえた整備方針の策定 (特に、広域的基幹施設である休山隧道配水池の更新は、県と連携して取り組む。)	水道建設課 計画課
		オ 下水道施設の更新・強靱化	老朽施設の計画的な更新に併せた耐震化等の推進と新たな強靱化対策の検討	短期 (3年以内)	H31	○平成30年度の取組状況 ・管きよ更生発注件数 3件 L=696m	●施設の強靱化には、多額な費用と長い期間が必要	◎施設の重要度・危険度等を踏まえた整備方針の策定	下水建設課 計画課
		カ 浸水（雨水）対策	排水施設の整備等による浸水被害の軽減に向けた検討	短期 (3年以内)	H31	○平成30年度の取組状況 【広東地区】 広雨水1号幹線(免田川)整備 【音戸町南隠渡地区】 南隠渡ポンプ場電気・機械設備整備	●浸水対策には、多額な費用と長い期間が必要	◎浸水が多発する地区における必要な対策の検討と取組方針の策定	下水建設課 計画課
		キ 応急給水体制の強化	この度の応急給水活動の検証による応急給水体制の強化	短期 (3年以内)	H31	○応急給水活動の検証中	●広範囲で長期にわたる断水が生じた場合は、多くの給水車と人員が必要	◎効率的で効果的な応急給水体制の検討	計画課 上下水道総務課
		ク 井戸の活用による生活用水の確保	災害時に供給が困難となるおそれのある生活用水の確保に向けた井戸の活用策の検討・実施	短期 (3年以内)	H31	—	—	◎生活用水として利用可能な井戸の把握 ◎他の自治体における事例調査 (災害協力井戸の登録制度等)	復興総室 地域協働課
		ケ 水道施設のバックアップ	断水範囲の縮小につながるバックアップ施設等の検討	短期 (3年以内)	H31	○断水範囲の縮小につながる施設整備案の検討	●広範囲を担うバックアップには、多額な費用が必要	◎地域特性や費用対効果等を踏まえた検討	水道建設課 計画課

区分	重点 取組項目	取組の名称	取組の概要	実施 予定 期間	完了 予定 年度	取組実績 (10月末まで)	課題	今後の予定	担当課
5	① 交通の強靱化・確保・渋滞対策 プロジェクト	ア 幹線道路の復旧及び強靱化の推進	広島呉道路，呉環状線(天応～焼山間)等，被災した幹線道路の早期復旧及び強靱で信頼性の高いネットワークの構築	短期 (3年以内) (復旧)	未定	○9/27 広島呉道路(呉IC～坂北IC)復旧及び呉環状線(天応地区)通行止め解除 ほか ○県道の通行規制 ・通行止め 7か所 ・片側交互通行 12か所 (ひろしま道路ナビより)	●多くの国県道は仮復旧で通行を確保しており，本復旧には相当の時間が必要 ●道路区域外の災害対策や災害に強い道路ネットワークの構築が必要	◎県に対し，通行止め箇所の早期復旧を要請 ◎災害に強い道路ネットワーク構築のための広島呉道路の機能強化や呉平谷線(上二河～此原間)の建設促進，被災箇所の道路防災・改良復旧による強靱化について，建設促進期成同盟会等を通じ，引き続き要望を実施	企画課 交通政策課
		イ 公共交通機関の復旧及び強靱化の推進	J R 呉線の早期復旧及び強靱で信頼性の高い公共交通網の構築	短期 (3年以内) (復旧)	未定	○JR呉線の復旧状況 8/ 2 海田市～坂駅間 復旧 8/20 呉～広駅間 部分運行開始 9/ 9 坂～広駅間 復旧 10/14 広～安芸川尻駅間 復旧 10/28 安芸川尻～安浦駅間 復旧 12/15 安浦～三原駅間 復旧予定	●仮復旧のため，現在も一部区間で徐行運転を強いられており，運行ダイヤ等も災害発生前の状態には回復していない状況	◎西日本旅客鉄道株式会社に対し，より信頼性の高い公共交通網として機能を維持していくための強靱化についての要望を引き続き実施	企画課 交通政策課
		ウ 今後の災害に備えた代替交通の確保，公共交通情報の提供及び渋滞対策の検討	市による今後の災害に備えた，交通・渋滞対策の検討及びJ R利用者・クレアライン線利用者等へのアンケート調査(交通実態調査)の実施	短期 (3年以内)	H30	○今回実施した渋滞・交通対策の取りまとめ	●災害時の実態把握のための調査が必要	◎実施を検討しているアンケート調査(交通実態調査)の結果及び今回実施した渋滞・交通対策の総括を踏まえて，今後の災害に備えた対策・体制等を検討	企画課 交通政策課
		エ 広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会，呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会による抜本的な検討	(ア) 交通マネジメント検討会における今後の災害に備えた対策・体制等の検討及び企業へのアンケート調査(交通実態調査)の実施  (イ) 今回の災害を踏まえた呉駅周辺地域の防災機能を含めた交通拠点の在り方の検討	短期 (3年以内)	H30	○検討会議の開催 2回 ○企業アンケート調査の実施 10/15調査依頼済み(11/2回答期限)  ○10/26 第2回懇談会の開催 今回の災害を踏まえた呉駅周辺地域の防災機能を含めた交通拠点の在り方等について意見交換	●今後の災害に備えた対策・体制等の検討が必要  ●今回の災害を踏まえた呉駅周辺地域の防災機能を含めた交通拠点の在り方について検討が必要	◎マネジメント検討会において実施中の企業アンケート調査及び今後，実施予定の企業モビリティマネジメント試行等について，中国地方整備局等と連携して作業を推進  ◎今年度中に今回の災害を踏まえた呉駅周辺地域の防災・交通拠点の在り方について，呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会から提言をいただく予定	企画課 交通政策課  企画課

区分	重点 取組 項目	取組の名称	取組の概要	実施 予定 期間	完了 予定 年度	取組実績 (10月末まで)	課題	今後の予定	担当課
6 廃棄物・土砂処理プロジェクト	① 被災家屋撤去及び土砂混じりがれき撤去	ア 損壊家屋の解体・撤去	り災証明で半壊以上の認定を受けた損壊家屋の解体・撤去	短期 (3年以内)	H31	○相談件数(電話・窓口)：245件 ○申込書の受付：164件 ○撤去完了：27件	●事務処理期間の長期化(権利関係の確認, 承諾書の取得, 現地立会等) ●困難事例への対応(地形的要因による撤去の遅延や民々間での補償問題等)	◎施工業者の決定 ◎現地調査, 立会確認 ◎工事施工	環境政策課 営繕課
		イ 損壊家屋及び土砂混じりがれきの撤去に関する償還払	所有者等による損壊家屋及び土砂混じりがれきの撤去に要する経費の償還払	短期 (3年以内)	H31	○相談件数(電話・窓口)：337件 ○申込書の受付：168件 ○支払済：0件	●条件の異なる個々の多様な事例への対応	◎申込内容の審査 ◎償還金額の算定・決定 ◎償還金の支払	環境政策課
		ウ 宅地内の堆積土砂及び土砂混じりがれきの撤去	宅地内の堆積土砂及び土砂混じりがれきの撤去	短期 (3年以内)	H30	○申込受付：524件 ○着手：372件 ○撤去完了：299件	●事務処理期間の長期化(権利関係の確認, 承諾書の取得, 現地立会等) ●困難事例への対応(地形的要因による撤去の遅延や民々間での補償問題等)	◎生活再建につながる案件の最優先実施	環境政策課 土木維持課
		エ 災害土砂の撤去・運搬・大分別	被災現場及び一次仮置場に集積する災害土砂の阿賀マリノポリス内ストックヤード(2次仮置場)への運搬	短期 (3年以内)	H31	○1次仮置場：30か所 うち、撤去完了した1次仮置場 6か所	●災害土砂搬出用車両の手配が困難	◎H31年12月 搬出作業完了	土木維持課
		オ 災害廃棄物等の収集・分別・処分	被災現場及び一次仮置場に集積する災害廃棄物等の広多賀谷多目的広場(2次仮置場)への運搬, 選別, 前処理及び中間処理	短期 (3年以内)	H31	○搬入想定量：約140,000t ○搬入量：約100,000t ○処分量：約2,400t (可燃物)	●家屋解体の進行に伴う廃棄物集積場所の確保 ●集積廃棄物の早期処分	◎H31年1月 本格処分開始 ◎H31年12月 処分完了	環境政策課
	② 災害廃棄物・土砂	ア がれき混じり土砂の分別	阿賀マリノポリスに集積するがれき混じり土砂の土砂, 岩石, がれき, 流木等の分別	短期 (3年以内)	H31	○搬入想定量：約145,000m <sup>3</sup> ○搬入量：約63,000m <sup>3</sup> ○分別済：約19,000m <sup>3</sup>	●土のうの分別方法の検討	◎H31年3月 分別作業完了	港湾漁港課
		イ 土砂の海上運搬・処分	阿賀マリノポリスで分別された土砂の埋立地への海上運搬及び処分	短期 (3年以内)	H31	○契約準備中	●岩石の受入先の検討	◎H31年1月 海上運搬開始 ◎H31年7月 海上運搬完了	港湾漁港課

区分	重点 取組 項目	取組の名称	取組の概要	実施 予定 期間	完了 予定 年度	取組実績 (10月末まで)	課題	今後の予定	担当課
7 産業 支援 プロジェクト	① 中小 企業 支援	ア グループ補助金（ 国・県）の中小企業 支援策に関する取組	グループ補助金（国・県実 施）の交付申請に対する支援	短期 (3年以内)	H30	○広島県グループ補助金復興計 画認定 (1次締切) 4団体・122社	●認定を受けたグループの各企 業・事業者への補助金交付申請 手続に関するサポートが必要	◎復興計画申請 (2次) 10/31締切 (3次) 11/30締切 ◎補助申請 (1次) 11/15締切・ 12月中旬決定 (2次) 12月中旬締切・ 1月中旬決定 (3次) 1月中旬締切・ 2月中旬決定	商工振興課
		イ セーフティネット 保証4号等の融資手 続に必要な認定証 等の交付	県の融資制度等の手続に必要 な災害に起因して売上高等が減 少していることを認定する認定 証等の交付	短期 (3年以内)	H30	○認定件数 ・セーフティネット保証4号 70件 ・県災害復興支援特別資金 105件 ・被害証明書 7件	●迅速な認定事務の遂行	◎迅速な認定事務の継続 (参考) 認定期間 ・セーフティネット保証4号 H30.7.5～H31.1.11 ・県災害復興支援特別資金 H30.8.6～H31.1.31	商工振興課
		ウ 商店街にぎわい創 出事業等、商店街等 の復興促進に関する 取組	国の商店街にぎわい創出事業 への申請支援	短期 (3年以内)	H30	○申請 2件 (本通商店街・中通商店街)	●商店街の来街者や売上の増加 につながるような取組への支援	◎申請相談の継続 ◎イベントの実施時期 12月24日 中通商店街 1月20日 本通商店街	商工振興課
	② 観光 支援	ア 「13府県ふっこう 周遊割」など国等の 観光支援策に関する 取組	広島県等が実施する「13府県 ふっこう周遊割」の市内宿泊事 業者や本市への観光客への情報 提供と本市における利用の促進	短期 (3年以内)	H31	○市内宿泊事業者（旅館業法） への情報提供 ・8月17日に市主催の説明会実施 ・事業者等に対し、県説明会へ の参加呼び掛けや国県の動きな どの情報提供 ○ボランティアへの情報提供 ・ボランティアセンターでの情 報提供	●個人や指定宿泊施設からの利 用申請の受付終了（旅行会社が 企画する旅行商品は継続）	◎県の動向等を注視し、引き続 き、市内宿泊事業者等への情報 提供を実施	観光振興課

区分	重点取組項目	取組の名称	取組の概要	実施予定期間	完了予定年度	取組実績(10月末まで)	課題	今後の予定	担当課
7 産業支援プロジェクト	② 観光支援	イ 観光需要の回復に向けた観光関連団体や企業等と連携したプロモーションの展開	県及び県観光連盟、JR西日本等の交通機関、NEXCO西日本、旅行社等と連携したプロモーション(各種媒体を活用した観光情報の発信、県内外のイベント等への参加)による誘客と観光需要の回復	短期 (3年以内)	H32	○JAL機内誌、JR西Navi、JTB時刻表等への観光情報掲載 ○東京ビッグサイト、広島空港、JR鹿児島駅等での観光PR ○平成32年10月～12月に開催されるJR西日本の大型観光プロモーション「せとうち広島ディスティネーションキャンペーン」に向けた観光関連団体との協議等	●市内観光関連事業者との連携強化が必要	◎広島中央地域連携中枢都市圏による東京での観光宣伝隊(11/16～18)、愛媛松山産業まつり(11/24・25)等、引き続き、観光関連団体等と連携したプロモーションの展開	観光振興課
		ウ 観光地としての魅力を高める旅行商品の造成促進	首都圏等の旅行社訪問等による旅行商品造成の働き掛けと、地域事業者と連携した新たな観光素材の構築に向けた取組の推進	短期 (3年以内)	H32	○東京・名古屋・大阪・福岡などの旅行社訪問による旅行商品造成セールス ○「せとうち広島ディスティネーションキャンペーン」に向けた新たな観光素材構築の検討等	●平成32年の大型観光プロモーション「せとうち広島ディスティネーションキャンペーン」に向け、旅行社の旅行商品に組み込む新たな観光素材の構築が必要	◎旅行社訪問等による旅行商品造成の働き掛けと、地域事業者等と連携した新たな観光素材の構築に向けた取組の継続	観光振興課
		エ 呉海自カレーや呉鎮守府開庁130周年記念事業等のイベント開催による全庁的な賑わいの創出	呉海自カレーフェスタや呉鎮守府開庁130周年記念事業等のイベント開催による市内外からの誘客の促進	短期 (3年以内)	H32	○9月15日に帆船「みらいへ」及びSTU48の来呉イベントを実施 ○10月14日に大和ミュージアムで海上自衛隊呉音楽隊ミニコンサートを実施等	●災害復興イベントとして人を呼び込むため、従来の内容に加えた新たな素材が必要	◎呉海自カレーフェスタ(11/18)やイルミネーションロードくれ(12/3～1/3)等の開催 ◎呉鎮守府開庁130周年記念事業の開催に向けた調整等	全庁全課
	③ 農水産業支援	ア 被災農業者向け経営体育成支援に関する取組	被害を受けた農業者が農業経営を維持していくために必要な農産物の生産・加工施設・機械等の復旧に必要な経費を支援	短期 (3年以内)	H31	○9/27～10/19の間、各市民センターに出向き、相談及び要望の受付を実施 ○実施見込件数：291件 ※国の計画承認後、申請受付開始	●農地災害復旧事業の実施時期による進捗への影響	◎引き続き、被災農業者の経営維持を支援 ◎国のスケジュールに沿った計画申請による事業の実施	農林水産課
		イ 水産多面的機能発揮対策に関する取組への支援	国の水産多面的機能発揮対策事業の取組に対する支援	短期 (3年以内)	H32	○活動開始日 ・安浦 : 9月12日 ・阿賀 : 10月20日 ・倉橋西部 : 10月20日 ・広 : 11月6日	—	◎漁業者を中心とする活動組織による土砂撤去の実施(業務委託) ◎引き続き、活動組織に対する側面支援	農林水産課

区分	重点 取組 項目	取組の名称	取組の概要	実施 予定 期間	完了 予定 年度	取組実績 (10月末まで)	課題	今後の予定	担当課
8	① 避難 体制 の見直し・強化 プロジェクト	ア 市民の防災力の向上	災害から命を守るための意識を醸成し、「自助・共助」による取組の促進を図るため、防災等に関する講座・講習の開催等、市民の防災力向上に向けた取組を推進	短期 (3年以内)	H30 ※毎年 実施	○7月豪雨により実施できなかった出前講座や防災講習等について11月から再開予定	●市民の意識改革を促進するための取組の検討 ●講師の養成	◎予約件数(10月末現在) ・11月 6件 ・12月 1件	危機管理課
		イ 新たな避難所の検討	今回の豪雨災害における各避難所の避難状況や避難経路等を検証し、民間の施設を含めた指定避難所の追加や変更について検討	短期 (3年以内)	H31 ※随時 協議	○避難所の現状や課題等を整理し、民間施設等を含めた今後の避難所のあり方について検討中	●公共施設の統廃合に伴う避難所候補施設の不足 ●災害危険箇所以外に立地する避難所の指定 ●民間施設の避難所活用における管理運営の問題	◎地域避難所の指定 ◎福祉避難所の運営の調整 ◎民間施設の避難所活用に向けた協定書等の締結 ◎県立高等学校の避難場所指定に向けて協議	危機管理課 福祉保健課 商工振興課 教育総務課
		ウ 広島県と連携した避難行動の検証	実際の災害時に自ら判断して避難行動をとるために必要となる条件や要素等について、広島県と連携して分析・検証し、より実行性の高い方策について検討	短期 (3年以内)	H31	○アンケート聴き取り調査の実施に向け、対象者(約150人)を抽出中	●偏りのない幅広いアンケート聴き取り調査の実施 ●早めの避難行動につながる効果の高い被害防止対策の検討	◎11月～12月 聴き取り調査(市職員も調査に同行) ◎1月 郵送調査 ◎2月～3月 研究チームによる分析	危機管理課